

熊野古道なかへち美術館開館15周年記念

本年、熊野古道なかへち美術館は開館15周年をむかえます。これを記念して、この春これまで度々紹介してきた当地ゆかりの画家、渡瀬凌雲の画業を振り返る特別展を開催します。

凌雲(本名・幸茂)は1904(明治37)年7月、長野県下伊那郡根羽村に生まれました。息子に画才があるのを見抜いた母親は、幸茂に7歳より南画と山水画を習わせました。幸茂は上達が早く、9歳の頃には「小洲」という雅号をもち、50人以上の大人からなる支援グループが結成されたことも記録に残っています。その後12歳で雅号「凌雲」を与えられ、この号を生涯を通して用いました。

長野、静岡、愛知、東京で学業を修め南画を学んだ凌雲は、父を亡くした翌年の1923(大正12)年19歳のときに初めて紀州熊野を訪れています。紀南各地を写生した後、翌年に新宮町に転居し、短期間ながら母や姉とともに生活して、町の文化人たちと交流したり文人の福田静處から書や俳句などを学んで、南画家として自立するための経験をここで積みました。

紀州熊野は先祖の故郷でした。様々な事情で遠い長野県に暮していた一家にとって望郷の思いは尽きることなく、凌雲にもこの地を渡瀬家の故郷と伝えて育てたといえます。凌雲のこの生い立ちは、南画家としての画業や作品の制作とも深く結びつき、熊野地方を題材とした特徴ある作品を多く生むことになりました。

1930(昭和5)年京都に移って、日本南画院展、帝国美術院展等に出品を続け、1933(昭和8)年の第14回帝展に入選した(采藻)が、日本の美を世界に発信したドイツの建築家ブルーノ・タウトの賞賛を得て、著書「日本文化私観」で紹介されたことから広くその名が知られるようになりました。

凌雲は京都を拠点にしながら写生や展覧会開催のために国内だけでなく中国やヨーロッパ各地も訪れています。また周囲の南画家や支援者たちに推されてアメリカに約1年間滞在し、各地で個展や講演会を開いて南画を積極的に世界に紹介もしました。1973(昭和48)年には日本南画院の

日本近代工芸の精華



六角紫水(金胎蒔絵唐草文鉢) 1935(昭和10)年頃 漆・金胎・蒔絵

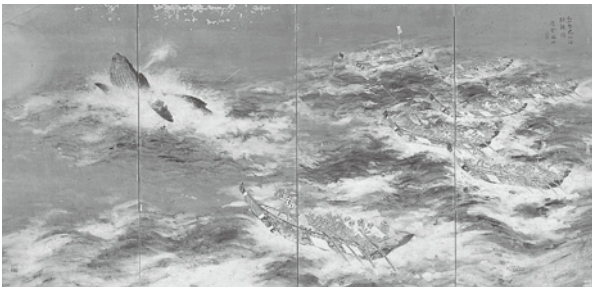
INFORMATION

特別展：「平成25年度東京国立近代美術館工芸館巡回展」
会 場／田辺市立美術館
会 期／7月20日(土)～9月23日(月・祝)
休館日／毎週月曜日(但し9月16日・9月23日は開館)
9月17日(火)
観覧料／600円(480円)
※()内は20名様以上の団体割引料金です。
学生及び18歳未満の方は無料

「渡瀬凌雲展」

副理事長、審査員となり、和歌山県文化功労賞を受けています。

この展覧会は、熊野古道なかへち美術館と田辺市立美術館の両会場で開催します。ぜひ多くの方々に凌雲の芸術にふれていただけることを願っています。
(学芸員 山本 泰代)



※展示会場 前期:田辺市立美術館 後期:熊野古道なかへち美術館

INFORMATION

特別展：「熊野古道なかへち美術館開館15周年記念 渡瀬凌雲展」
会 場／熊野古道なかへち美術館・田辺市立美術館
会 期／前期：4月13日(土)～5月26日(日)
後期：6月 1日(土)～7月 7日(日)
休館日／毎週月曜日(但し4月29日・5月6日は開館)
4月30日(火)・5月7日(火)
※5月27日(月)～5月31日(金)は展示替のために休館します。
主 催／熊野古道なかへち美術館・田辺市立美術館
観覧料／熊野古道なかへち美術館：250円(200円)
田辺市立美術館：600円(480円)
※()内は20名様以上の団体割引料金です。
学生及び18歳未満の方は無料

★展示解説会を開催します。
熊野古道なかへち美術館：5月11日(土)・6月 8日(土)
田辺市立美術館：5月18日(土)・6月15日(土)
いずれも午後2時から学芸員が行います。

REPORT

【美術館開放講座“音の森” 松田淳一ヴァイオリンコンサート】

【日時】平成24年9月29日(土)14:00～16:00 【場所】熊野古道なかへち美術館 展示室

松田淳一さんのヴァイオリンを中心としたトリオ(Vn.松田淳一・Key.山上華子・Fl.田辺市立美術館の某学芸員)の演奏会は、当初一昨年の夏の終わりに予定していましたが、台風12号の影響で一旦延期になり、その後やむなく中止となりました。昨年あらためて企画しなおし、ようやく実現したこのコンサートには、期待に胸ふくらませた160人以上の老若男女の方々がお越しになりました。
プログラムは馴染み深い名曲からあまり演奏されない楽曲まで、もり沢山の内容でした。ピアニストの山上華子さんは、日本に数台しかないという古い鍵盤楽器「スピネット」も持参して演奏してくれました。音楽を共有する楽しさ、音の奥深さをつくづく感じさせてくれたひと時でした。

(学芸員 山本 泰代)

【「詩人たちの絵画」展 詩の朗読会】

【日時】平成24年10月20日(土)14:00～15:45 【場所】田辺市立美術館 研修室

昨年の秋に開催した特別展「詩人たちの絵画」は、文学と造形表現の双方に才能を発揮した日本近代の芸術家11人の表現に注目した展覧会でした。文学表現の紹介の仕方がこの展覧会の要所で、代表的な詩をパネルにして掲示したり、詩集のコーナーを設けたりといったことの他に、朗読会を開催して詩の魅力を伝える機会をもちたいと企画当初から考えていました。幸いに、朗読の経験が豊富で、近代文学にも深い理解を寄せられる田辺市立図書館司書の仲道子さんの賛意をいただき、実現することができました。
6人の作家をとりあげ、当方の解説も交えながら行いました。お越しいただいた会場いっぱいの方々から仲さんの朗読に聞き入ってくださり、詩人たちの表現への関心を深めていただけたのではないかと思います。

(学芸員 三谷 涉)

【「没後30年 朝井閑右衛門展」 記念講演会】

【日時】平成25年1月26日(土)14:00～15:45 【場所】田辺市立美術館 研修室

今年没後30年となる洋画家朝井閑右衛門の芸術を回顧する展覧会を、横須賀美術館と共同で開催しました。会期中には、横須賀市自然・人文博物館学芸担当課長の石渡尚さんにお越しいただいて、「朝井閑右衛門の人と作品」と題した講演をしていただきました。

親交のあった詩人草野心平が「独創傑出の画家」と讃えた朝井の芸術を把握するのは中々一筋縄では行かないのですが、長年この画家の調査、研究に携わってこられた石渡さんは、残された素描や言葉、様々なエピソードや同時代の美術界の動向などに触れながら、多面的にこの芸術家を考察し、その姿を浮かび上がらせてくれました。

(学芸員 三谷 涉)

※石渡さんの論考や、出品作品すべてのカラー図版を収録した展覧会図録はまだ残部があります。ご関心の方はお問い合わせください。

【「林憲昭展 ひかりのかたち」 日光写真画ワークショップ ひかりとかげであそぼう!】

【日時】平成25年3月2日(土)13:30～16:00 【場所】熊野古道なかへち美術館

サイアノタイプという古典的な写真の技法で日光写真画を作るワークショップをおこないました。晴天が望まれたこの日は、朝から寒く雪が舞い、太陽は出たり隠れたり心配な天気。それでも、田辺市内からだけでなく、はるばる兵庫や大阪からも集まった参加者30名は皆元気いっぱいでした。早速、この技法を用いて制作しているアーティスト林憲昭さんの指導で、それぞれの作品作りに取り掛かりました。感光液が塗られた紙の上に好きなものを並べて日光にあてると色が変化し、さらに水洗いして乾かすと鮮やかな青の出現。これで皆すっかりサイアノタイプに夢中になりました。
次に3つのグループに分かれて9メートルの布の上みんなの足跡をのこすという作品に挑戦しました。光を待つ間は辛抱強さが、時間が来ればすばやい動作が必要で、チームワークも大切です。大人も子どもも足を前に出してじっと我慢の約10分。素足で頑張った人もいました。こうして長い足跡の記録が6枚完成しました。美術館の敷地の空に掲げるこの作品のタイトルを、林さんはちゃんと考えてくれていました。名づけて「熊野古道スカイウォーカー」。見学の人たちも一緒にになってこのワークショップを楽しみました。
(学芸員 山本 泰代)

関西文化の日

2003(平成15)年から始まった「関西文化の日」の取り組みは、昨年でちょうど10回目を迎えました。これは心理学者で当時文化庁長官だった河合隼雄氏の提言からスタートしたもので、関西広域連合と関西元氣文化圏推進協議会が主催して、賛同する美術館、博物館、資料館などが観覧料や入館料を無料にして来館を促し、関西圏の有する文化に触れる機会と、その愛好者を増やすことを図っています。河合氏の「日本の社会を文化で元気に」、「まず関西から」という理念が息づいています。
例年11月の中旬に日が設定され、昨年は17日(土)、18日(日)に実施されました。当館も昨年からこれに参加し、ちょうど17日からスタートした小企画展・館蔵品展の観覧料をこの2日間無料にしました。また「関西文化の日」の趣旨に沿って、両日とも展示解説会を開催して、好評をいただきました。
今年も実施を予定していますが、こうした取り組みの積み重ねが、芸術、学術に対する関心の高まりや、「社会の元氣」に結びついて行けば何よりも思います。
(学芸員 三谷 涉)



ヴァイオリンとキーボードでベートーヴェンの“クロイツェル・ソナタ”も。



展示替のため休館

展示替のため休館



展示替のため休館



日光写真画に挑戦中。感光液を添付した紙に思い思いのものを並べ太陽の光を待ちます。



解説会にも多くの方に参加いただきました。

展覧会スケジュール

| | | | |
|--------|------|-----|--|
| 平成25年度 | H.26 | 3月 | ⑤特別展 生誕110周年記念 奥村厚一展 2/8(土)～3/23(日) |
| | | 2月 | 展示替のため休館 |
| | | 1月 | 展示替のため休館 |
| | | 12月 | ④小企画展 生誕120年 玉村方丈斗 12/7(土)～1/26(日) |
| | | 11月 | 展示替のため休館 |
| | | 10月 | ③館蔵品展 文人画館蔵作品展 10/5(土)～11/24(日) |
| | | 9月 | 展示替のため休館 |
| | | 8月 | ②特別展 平成25年度 東京国立近代美術館 工芸館巡回展 7/20(土)～9/23(月・祝) |
| | | 7月 | 展示替のため休館 |
| | | 6月 | ①特別展 熊野古道なかへち美術館 開館15周年記念 渡瀬凌雲展 (前期)4/13(土)～5/26(日) (後期)6/ 1(土)～7/ 7(日) |
| | | 5月 | 展示替のため休館 5/27(月)～5/31(金) |
| | | 4月 | |

▲平成25年度の展覧会スケジュールです。切り取って▲印のところを三つ折りして携帯してください。

アンケートのお願い

裏面にORANGE vol.18のご感想を記入して

受付にお渡し下さい。

平成26年3月31日まで、おひとり様1回限り、

無料で展覧会をご観覧いただけます。

田辺市立美術館